

各部局等の長 殿

高浜市長 吉岡初浩

令和5年度（2023年度）予算編成について

## 第1 予算編成のスタートにあたって

国においては、長期化するコロナ禍に加えて、原油価格・物価高騰、気候変動のリスク、人口減少や少子高齢化など、内外の難局が同時に、そして複合的に押し寄せている。そのような状況の中で、政府は、この難局を単に乗り越えるだけでなく、課題解決と経済成長を同時に実現していくことを目指し、「グリーントランスフォーメーション（GX）への投資」、「デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資」等を始めとした5つの柱を掲げている。そのような国の動向を十分に注視していく必要がある。

本市においては、令和5年度は「第7次高浜市総合計画」のスタートの年であり、大きな転換期である。しかし、税収についてはコロナ禍以前の水準までの急速な回復を見込むことは難しく、その上、喫緊かつ最重要課題である公共施設の更新等の経費、教育・子育て関連経費、社会保障費等の増加が見込まれるため、引き続き厳しい財政状況が続くことが予想される。10年先の将来を見据えた、市政運営の根幹である「第7次高浜市総合計画」を着実に推進していくために、事業の選択と集中を行っていかなければならない。

そのような状況を踏まえて、今年度は予算編成の一環としてサマーレビューを実施し、全職員が当事者意識を持って「全事業の振り返りと見直し」に取り組んだ。

「第7次高浜市総合計画」に切り替わるタイミングを、アプローチを変えるチャンスと捉え、視野・視点・視座を変えながら、経常経費の削減に取り組み、厳しい財政状況を乗り越える準備を進めてきたところである。

当市を取り巻く環境はこれから大きく変化していくが、固定概念に囚われず、事業の必要性を見つめ直し、変革に取り組んでいく姿勢や意識が重要である。職員一人ひとりが予算編成を自分事として捉え、知恵や経験、アイデアなど持てる力を最大限に発揮し、将来を展望する視点を持って対話を重ね、歳入・歳出両面からの徹底した見直し及び経常経費の削減に果敢にチャレンジしていくことを強く期待する。

## 第2 予算編成の基本的な考え方

令和5年度の予算編成では、第7次高浜市総合計画を着実に推進していくとともに、将来を見据えた安定的で持続可能な財政基盤の構築を図るため、「**第7次高浜市総合計画スタート予算**」と位置づけ、次の考え方に基づいて予算編成を進めるものとする。

### (1) 第7次高浜市総合計画の着実な推進

第7次高浜市総合計画と令和5年度予算を連動させつつ、限られた財源の中で計画を着実に推進していくためにも、本市が目指したい未来に向かってバックキャストの考え方をを用いて、事業のあり方や方向性を見直しつつ、事業の選択と集中を行っていくこと。

### (2) 事業の見直しによる経常経費の削減

社会情勢や国の動向、市民ニーズの変化等を的確に把握し、これらの変化をアプローチを変えるチャンスと捉え、これまで事業を作り上げてきた経緯や想いは尊重しつつも、固定概念に囚われずに、事業の必要性の見直しに徹底的に取り組み、財源の確保及び経常経費の削減を図ること。

## 第3 予算編成における重要な視点

令和5年度の予算編成における重要な視点は、以下のとおりとする。

1. 安心・安全な子育て環境に関する視点
2. 教育環境の向上に関する視点
3. DX推進に関する視点
4. 地球環境の保全に関する視点
5. 福祉の重層的支援に関する視点